

最近の機械貿易動向(11月)～機械輸出は2ヶ月連続で前年比マイナス～

日本機械輸出組合 2012. 1. 16.

平成23年11月の機械輸出額は、3兆4,536億円、対前年同月比2.4%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。これは、①超円高に加え、②最大輸出地域のNIES/ASEAN及び中国向けが大幅な減少になったこと、③機械輸出額の1/3を占める自動車の伸びが止まった他、産業機械、電子デバイス、民生用電子機械等が大幅なマイナスとなったことが主因である。

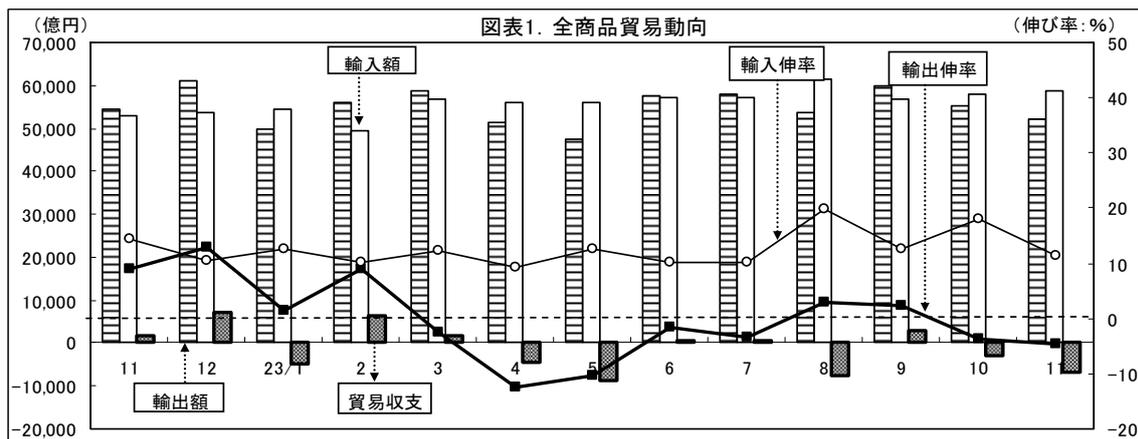
12月については、1ドル=77.5円で、超円高による減少は4.4%となり、仮に、機械輸出の実質的伸び率が11月並の0.8%増とすると、12月の営業日は前年と同じであることから3.6%減になると予想される。因みに12月の上中旬の全商品輸出額は8.5%減であった。

1. 全商品貿易動向～貿易収支は2ヶ月連続で赤字～

1)平成23年11月の全商品輸出額は5兆1,966億円、前年同月比(以下同じ)4.5%減と2ヶ月連続でマイナスとなった(10月3.8%減)。これは、全輸出額の約17%を占める電気機器(10.7%減)、約21%を占める一般機械(4.1%減)、約9%の化学製品(12.5%減)がマイナスとなったためである。

2)輸入額は5兆8,842億円、11.5%増と23ヶ月連続、また、5月以来7ヶ月連続で二桁の増加となった(10月18.0%増)。これは、全輸入額の約31%を占める原油、石油、液化天然ガス等鉱物性燃料(28.1%増)、約9%の化学製品(19.7%増)等が高水準の伸びを続けているためである。

3)この結果、11月の貿易収支は、輸入額が輸出額を上回り、6,876億円と2ヶ月連続の貿易赤字となった。

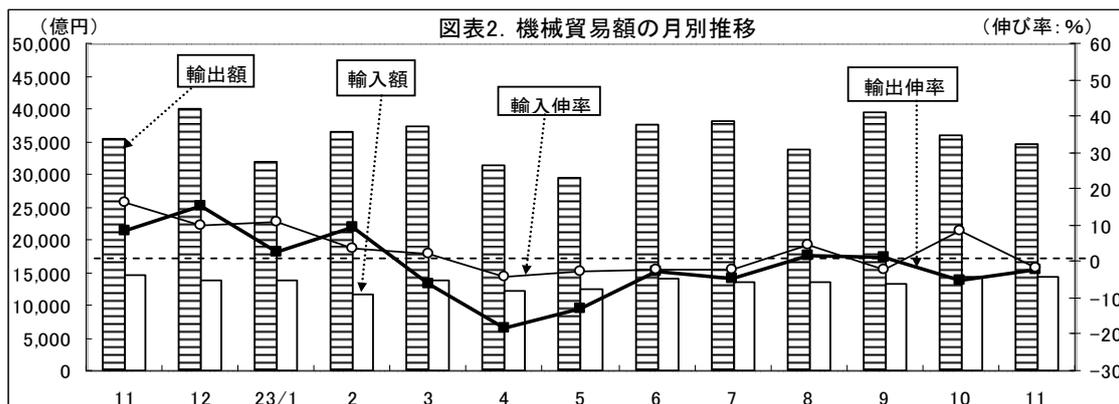


2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出も2ヶ月連続のマイナス～

1)全商品輸出額の約66%を占める11月の機械輸出額は3兆4,536億円、2.4%減と2ヶ月連続でマイナスとなった(10月5.0%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前の平成19年11月の68%と前月からさらに1ポイント後退した(10月69%)。

2)一方、全商品輸入額の約25%を占める機械輸入額は、1兆4,429億円、1.7%減と再びマイナスとなった(10月8.4%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の83.0%と前月より2.3ポイント(10月80.7%)改善した。



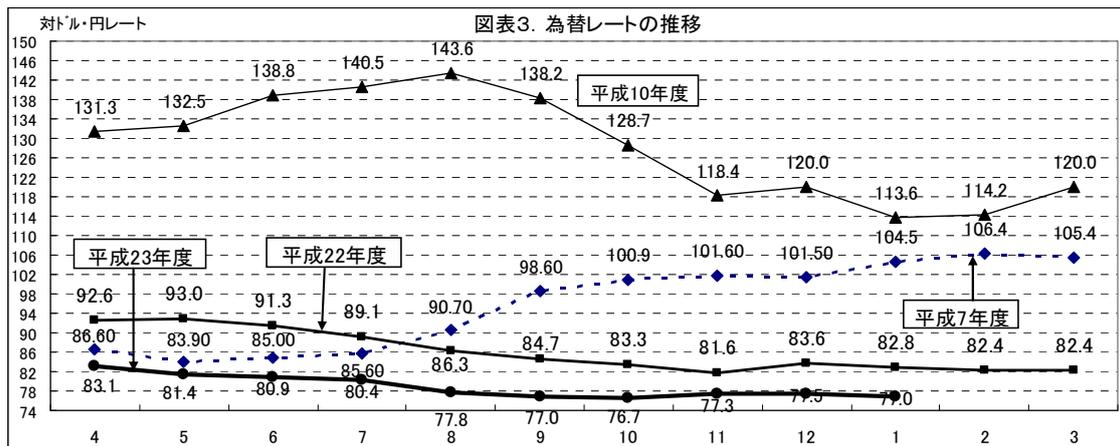
(2) 為替動向・営業日～11月は最高値が止まり3.2%の減少要因、実質伸び率は0.8%増へ～

1) 11月は1ドル＝77.3円と月間の最高値はストップしたが前年比5.3%の円高が続き、対ユーロ＝104.6円では5.8%の円高となり、合計3.2%減の為替減少要因となった。一方、営業日は前年と同じなので、合計3.2%の減少要因となった。

このため、11月の機械輸出は2.4%減であったが、為替要因を除く実質伸び率は0.8%増と再びプラスとなった(10月0.2%減)。

2) 12月は1ドル＝77.5円と前月よりやや円安となったが、前年が円安で推移したため、前年比7.3%の円高となり、また、対ユーロ＝103.7円では7.1%の円高となり、合計4.4%減の為替減少要因に拡大した。一方、営業日は前年と同じなので、合計4.4%の減少要因となった。

3) 平成24年1月は、対ドルが現状の77円とすれば6.7%の円高となり、また、対ユーロが現状の98円とすれば10.1%の円高に進み、合わせると4.9%減の為替減少要因となる。営業日が前年と同じなので、計4.9%減の減少要因に拡大する。



(3) 地域別動向～中国、NIES/ASEAN 向け大幅落込み、その他、北米向けはプラス～

1) 機械輸出が減少した地域的要因は、①機械輸出額の18%を占める中国向けが、船舶(66.6%減)、建設機械(56.5%減)、デジカメ(50.1%減)、半導体製造装置(32.5%減)等が大きく減少し、8.0%減と最も大きなマイナス幅となったこと、②機械輸出額の約27%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けで、タイ、香港、台湾が軒並み2ケタ減となり、業種では、電子デバイス、半導体製造装置等産業機械、デジカメ等が大幅に減少し、7.9%減と11ヶ月連続マイナスとなったこと、③約13%を占めるEU向けでは、自動車(8.5%減)、半導体製造装置等産業機械(15.3%減)、電子デバイス(25.2%減)、デジカメ(54.6%減)の減少が響き4.5%減の減少となったこと、による。

2) 他方、①約20%を占めるその他地域向けでは、ロシア東欧が4ヶ月連続で、インドは10ヶ月連続で増加した他、中南米、大洋州はマイナスからプラスに転じ、機種では、全体の19%を占める船舶(30.3%)同8%の貨物自動車(40.5%増)、半導体製造装置(9.4倍)、金属加工機(2倍)、建設機械(37.2%増)、光学機械(2倍)が寄与し、6.3%増と伸び率を拡大した。②22%を占める北米向けは、輸出額の約50%を占める自動車(3.9%増)がプラスに転じた他、建設機械(53.9%増)、工作機械(33.3%増)、原動力機械(2倍増)、金属加工機械(71.6%増)、発電機(72.3%増)のプラスが寄与して3.6%増となった。

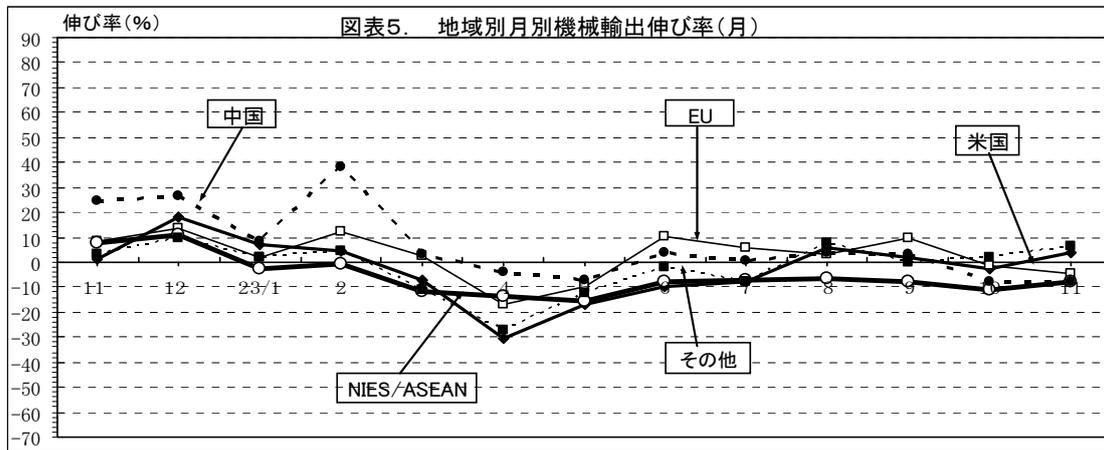
3) 地域別では、リーマンショック前の平成19年11月の輸出額と比較すると、水準を超えた地域は前月に続き皆無となり、低い水準(50～60%台)に留まっているのがEU、その他地域、北米であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2011/9			2011/10			2011/11			対07年11月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,385	1.2	100	35,917	▲ 5.0	100	34,536	▲ 2.4	100	0.68
北米	7,955	1.7	20.2	7,647	▲ 2.6	21.3	7,703	3.6	22.3	0.66
EU	5,150	9.4	13.1	4,634	▲ 1.1	12.9	4,420	▲ 4.5	12.8	0.56
NIES/ASEAN	10,497	▲ 7.6	26.7	9,486	▲ 11.3	26.4	9,143	▲ 7.9	26.5	0.71
中国	7,068	2.9	17.9	6,637	▲ 7.7	18.5	6,223	▲ 8.0	18.0	0.98
その他	8,714	6.5	22.1	7,513	1.9	20.9	7,048	6.3	20.4	0.60

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2011/8		2011/9		2011/10		2011/11	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,865	▲ 8.8	1,730	▲ 12.0	1,596	▲ 10.5	1,643	▲ 5.4
台湾	1,500	▲ 23.5	1,708	▲ 17.2	1,641	▲ 18.9	1,561	▲ 15.4
香港	1,459	▲ 8.2	1,567	▲ 16.8	1,470	▲ 19.0	1,312	▲ 16.4
タイ	1,531	3.1	1,778	7.6	1,483	▲ 10.9	1,204	▲ 21.8
シンガポール	1,018	8.5	1,071	▲ 6.9	781	▲ 22.1	907	▲ 12.6
インドネシア	676	5.0	940	4.1	837	7.5	942	39.0
マレーシア	716	▲ 3.0	809	▲ 6.2	736	▲ 8.7	706	▲ 5.1
フィリピン	453	▲ 8.6	532	0.3	586	16.4	485	▲ 1.7
ベトナム	290	10.9	325	5.0	303	9.5	294	20.0
その他地域								
中南米	2,072	4.7	2,816	▲ 4.1	2,333	▲ 7.3	2,449	13.5
中近東	1,293	5.8	1,420	▲ 14.3	1,520	17.7	1,191	▲ 5.8
大洋州	895	0.8	1,448	6.4	1,023	▲ 12.6	1,065	4.7
ロシア東欧等	1,105	7.4	1,454	28.4	1,446	21.5	1,079	13.6
アフリカ	631	12.7	865	38.9	567	▲ 21.5	639	▲ 8.2
インド	399	18.7	520	25.0	444	2.5	446	5.7

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～半分以上の業種がマイナスへ、機械輸出を牽引した自動車は横這いへ～

- 業種別では、全 19 業種中マイナスとなったのが 10 業種で、前月より 2 業種減少した。全体の 33% を占め機械輸出を下支えしていた自動車は横這い。産業機械(7.9%減、5ヶ月連続)、電子デバイス(15.2%減、11ヶ月連続)、民生用電子機械(30.9%減、9ヶ月連続)、通信機械(18.7%減、11ヶ月連続)、電子計算機(16.6%減、17ヶ月連続)、繊維機械(13.4%減、4ヶ月連続)、農業機械(13.4%減、3ヶ月連続)が大幅減少となった。一方、船舶(21.9%増)、光学機械(16.4%増)、建設機械(12.1%増)、工作機械(16.2%増)は2ケタの大幅増となった。
- この結果、リーマンショック前の輸出額を超えているのは医療機械、ベアリング、船舶の3業種。他方、電子計算機、民生用電子機械は30%台、通信機械は40%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き (単位: 億円、%)

機種名	2011/9			2011/10			2011/11			対07/11比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	12,978	6.3	33.0	自動車	12,222	2.8	34.0	自動車	11,525	0.0	33.4	0.64
産業機械	6,108	▲ 7.7	15.5	産業機械	6,012	▲ 10.3	16.7	産業機械	5,807	▲ 7.9	16.8	0.81
電子デバイス	3,264	▲ 9.2	8.3	電子デバイス	2,716	▲ 20.9	7.6	電子デバイス	2,544	▲ 15.2	7.4	0.59
船舶	2,471	▲ 2.7	6.3	船舶	1,319	▲ 26.7	3.7	船舶	2,018	21.9	5.8	1.04
軽電気機械	2,156	1.7	5.5	軽電気機械	1,992	▲ 5.8	5.5	軽電気機械	1,849	▲ 1.1	5.4	0.69
民生用電子機械	1,921	▲ 14.2	4.9	民生用電子機械	1,800	▲ 17.5	5.0	民生用電子機械	1,306	▲ 30.9	3.8	0.33
重電気機械	1,921	4.8	4.9	重電気機械	1,821	▲ 6.2	5.1	重電気機械	1,724	▲ 1.4	5.0	0.77
軽機械	1,425	11.7	3.6	軽機械	1,331	2.6	3.7	軽機械	1,232	4.8	3.6	0.67
光学機械	1,463	20.2	3.7	光学機械	1,381	14.9	3.8	光学機械	1,293	16.4	3.7	0.97
建設機械	1,248	15.9	3.2	建設機械	1,181	23.0	3.3	建設機械	1,122	12.1	3.2	0.85
工作機械	886	36.0	2.2	工作機械	742	17.6	2.1	工作機械	833	16.2	2.4	0.93
通信機械	505	▲ 9.9	1.3	通信機械	470	▲ 16.7	1.3	通信機械	430	▲ 18.7	1.2	0.44
電子計算機	472	▲ 20.0	1.2	電子計算機	456	▲ 23.7	1.3	電子計算機	414	▲ 16.6	1.2	0.33
ベアリング	406	14.9	1.0	ベアリング	383	▲ 1.5	1.1	ベアリング	364	1.3	1.1	1.04
陸用内燃機関	440	20.2	1.1	陸用内燃機関	401	2.2	1.1	陸用内燃機関	365	0.9	1.1	0.88
医療機械	332	▲ 10.9	0.8	医療機械	308	▲ 1.0	0.9	医療機械	314	▲ 2.6	0.9	1.35
繊維機械	158	▲ 15.7	0.4	繊維機械	208	▲ 1.1	0.6	繊維機械	167	▲ 13.4	0.5	0.61
農業機械	129	▲ 0.2	0.3	農業機械	141	▲ 13.9	0.4	農業機械	127	▲ 13.4	0.4	0.64
産業車両	142	9.4	0.4	産業車両	130	1.9	0.4	産業車両	140	8.2	0.4	0.61
19業種合計	38,425		97.6	19業種合計	35,014		97.5	19業種合計	33,574		97.2	0.67

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD・プリンター等部品。軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～金属加工機、貨物自動車、船舶等は好調、デジカメ、半導体製造装置等は減少～

- 1) 高い伸び率を示した機種は、①その他地域、北米、ASEAN 等向け**金属加工機械(50.3%増)**、②その他地域、ASEAN、北米等向け**貨物自動車(33.8%増)**、③EU、その他地域、北米等向け**船舶(21.9%増)**、④その他地域、中国、EU 等向け**光学機械(16.4%増)**、⑤EU、北米、ASEAN 等向け**工作機械(16.2%増)**、⑥EU、中国、韓国・台湾等向け**産業用ロボット(13.4%増)**などとなっている。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、デジカメ(52.7%減)、ラジオ(35.5%減)、半導体製造装置(28.8%減)、録画・再生機器(28.5%減)、磁気カード・ディスク(17.6%減)、電子計算機(16.6%減)、民生用電子部品(16.3%減)、原動力機械(15.7%減)、電子デバイス(15.2%減)、繊維機械(13.4%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/9			2011/10			2011/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	137	61.5	運搬機械	247	50.7	金属加工機	349	50.3
工作機械	886	36.0	建設機械	1,181	23.0	貨物自動車	904	33.8
光学機械	1,463	20.2	工作機械	742	17.6	船舶	2,018	21.9
陸用内燃機関	440	20.2	光学機械	1,381	14.9	光学機械	1,293	16.4
産業用ロボット	108	19.1	発電機	151	14.3	工作機械	833	16.2
分析・試験・検査機	816	16.8	風水力機械	704	11.1	産業用ロボット	98	13.4
運搬機械	236	16.6	機種合計	4,406	12.3%	建設機械	1,122	12.1
建設機械	1,248	15.9			機種合計	6,617	19.2%	
ベアリング	406	14.9						
自動車部品	4,325	11.1						
機種合計	10,065	25.6%						

は、2ヶ月連続で上位機種 ・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/9			2011/10			2011/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,021	▲ 35.5	半導体製造装置	1,002	▲ 31.3	デジカメ	362	▲ 52.7
TV	85	▲ 30.0	船舶	1,319	▲ 26.7	ラジオ	8	▲ 35.5
エアコン	10	▲ 25.9	電子計算機	456	▲ 23.7	半導体製造装置	1,007	▲ 28.8
電子計算機	472	▲ 20.0	民生用電子部品	766	▲ 23.6	録画・再生機器	14	▲ 28.5
ラジオ	10	▲ 19.1	電子デバイス	2,716	▲ 20.9	磁気カード・ディスク	166	▲ 17.6
磁気カード・ディスク	168	▲ 16.8	原動力機械	407	▲ 20.0	電子計算機	414	▲ 16.6
繊維機械	158	▲ 15.7	TV	89	▲ 15.7	民生用電子部品	660	▲ 16.3
民生用電子部品	913	▲ 14.9	農業機械	141	▲ 13.9	原動力機械	381	▲ 15.7
医療機器	332	▲ 10.9	デジカメ	707	▲ 11.9	電子デバイス	2,544	▲ 15.2
機種合計	3,169	8.0%	電気・電子計測器	370	▲ 10.1	繊維機械	167	▲ 13.4
			機種合計	7,973	22.2%	機種合計	5,723	16.6%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、TV大幅減少、携帯、乗用車大幅増加～

- 1) 11月の機械輸入伸び率は1.7%減と前月の大幅増から一転マイナスとなったが、その要因は、①二大輸入機種の電子デバイスの大幅落込みが続いていること、②TV(47.4%減)、光学機械(17.9%減)が大幅な落込みになったことなどによる。

一方、携帯電話(2.1倍増、28ヶ月連続)、乗用車(31.1%増、4ヶ月連続)、分析・試験・検査機(21%増、2ヶ月連続)の大幅な増加が続いている。

- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、TV、白物家電、医療機器、録画・再生機器、時計、ラジオ、エアコンとなっている。

- 3) 地域別機械輸入額は、中国(4.2%増)、ASEAN(17.5%減)、北米(14.8%減)、EU(26.9%増)、韓国・台湾(6.4%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/9				2011/10				2011/11			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,593	▲ 6.1	12.1	電子計算機	1,604	0.8	11.2	電子計算機	1,585	▲ 1.0	11.0
電子デバイス	1,492	▲ 22.4	11.3	電子デバイス	1,518	▲ 16.0	10.6	電子デバイス	1,445	▲ 16.2	10.0
乗用車	685	41.5	5.2	携帯電話	1,013	117.1	7.1	携帯電話	848	109.7	5.9
自動車部品	654	2.5	5.0	自動車部品	702	19.3	4.9	自動車部品	725	9.4	5.0
重電気機械	618	▲ 1.2	4.7	乗用車	604	40.0	4.2	乗用車	773	31.1	5.4
白物家電	455	▲ 0.9	3.5	重電気機械	604	▲ 0.3	4.2	重電気機械	642	▲ 4.3	4.4
携帯電話	446	6.2	3.4	白物家電	496	15.0	3.5	白物家電	538	▲ 4.8	3.7
医療機器	402	▲ 3.3	3.1	医療機器	435	3.5	3.0	医療機器	470	3.0	3.3
TV	349	▲ 27.2	2.7	TV	392	▲ 29.9	2.7	TV	447	▲ 47.4	3.1
光学機械	337	3.4	2.6	光学機械	363	15.1	2.5	光学機械	314	▲ 17.9	2.2
民生用電子部品	309	▲ 20.8	2.3	民生用電子部品	331	▲ 13.0	2.3	民生用電子部品	343	▲ 1.2	2.4
分析・試験・検査機	250	3.3	1.9	分析・試験・検査機	291	23.0	2.0	分析・試験・検査機	360	21.0	2.5
12機種合計	7,590		57.7	12機種合計	8,353		58.4	12機種合計	8,490		58.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械